

# 全専各連

ホームページから広報（PDF版）がダウンロードできます

No.139 2008年12月22日

発行：全国専修学校各種学校総連合会

発行人：中込 三郎

編集人：菊田 薫

〒102-0073

東京都千代田区九段北4-2-25

私学会館別館11階

Tel:03(3230)4814 Fax:03(3230)2688



## 専修学校検討会議の報告まとまる

### 「新たな学校種を中教審にて議論」を提言

11月14日、文部科学省は、『専修学校の振興に関する検討会議』（座長：丹保憲仁北海道大学名誉教授）の検討結果を、『社会環境の変化を踏まえた専修学校の今後の在り方について（報告）』として公表した。

専修学校の教育制度の改善や振興策の研究・検討を行い、今後の政策形成の参考とするため、昨年9月に生涯学習政策局長の下に設置された検討会議は、全専各連から中込三郎会長、福田益和副会長、岩崎幸雄常任理事のほか、他の学校関係者、産業界、地方行政、有識者の委員で構成され、昨年11月から本年10月まで12回の会議が開催された。

このうち第2回会議以降、全専各連が最重要方針に掲げる「新しい学校種の創設による職業教育体系構築の必要性」及び「既存の専修学校制度での職業教育力の向上方策、格差是正」に関する具体的な振興方策の提言を巡っての意見発表、これらの提言を含む日本の教育システム全体の在り方に関する広範な議論が行われてきた。在り方報告は、これまでの議論等を整理し、以下の柱にそって取りまとめを行い、特に新たな学校種について中央教育審議会での議論が適当であると結論付けている（在り方報告の概要は同封別紙を、全体は文部科学省ホームページを参照）。

なお、在り方報告を受け、12月中旬に文部科学大臣は中央教育審議会に諮問を行い、新たな学校種の創設が本格的に議論されることとなっている。

[1. 専修学校の現状等] …課程や教育分野の区分や規模、企業からの評価、生涯学習機会の提供等、職業教育を担う上での特徴のほか、「専修学校は、学校教育法第124条に規定される教育機関として、学校教育法第1条に規定される学校とは、法令上の取扱いが異なっている」という一節を設け、他の学校種との制度的な相違を指摘。

[2. 社会環境等の変化に対応した若者の社会的自立を促す教育の在り方] …若者の職業選択に係るモラトリアムの長期化を防ぎ、職業人としての自立を促すため、「職業を明

#### 文部科学大臣表敬訪問



左から、水元重友静岡県前理事、中込三郎全専各連会長、塩谷立文部科学大臣、中村徹全専各連副会長・静岡県会長、小林光俊全専各連常任理事・東京都会長（9月30日）

確に意識した教育システムを整備」し、かつ、教育全体を俯瞰して必要な見直しを行い、「新しい『職業教育』（キャリア教育によって培われた職業観等の上に立ちながら、専門教育を通じて職業に必要な知識・技能の習得等を目指す教育）のシステムを形成していく」ことの重要性を提起。

[3. 専修学校の今後の在り方について] …「現行制度における専修学校の改善・充実」では、1条校と異なる取扱いの精査・改善、通信教育制度の導入等の在り方、社会的要請の高い課題に対する取組・職業教育機能を活用した取組等の推進について指摘。他方、「学校教育体系における専修学校の新たな位置付け」では、高等教育と後期中等教育に分けて課題を示しつつ、「職業を明確に意識した教育に特に重点を置き、学校教育の再構築に向けた方策をとる」考え方の場合、職業教育を専らの目的とする新たな学校種については、現行の各学校種の目的や機能との関係の整理、学校教育体系の再構築による改善・課題の整理、設置基準の設定の在り方、現行の専修学校の役割・機能の評価や位

置付けを論点のまとめとして明示。

[4. 今後の検討の方向性等]…新たな学校種について、職業教育等の在り方の全体像を議論する中で、重要な課題の

一つとして、後期中等教育・高等教育における教育の在り方も視野に入れつつ、「中央教育審議会において、議論を深めていくことが適当」等と提言。

## 専修学校等振興議員連盟総会を開催



左から、遠藤利明衆議院議員・議連事務局次長、塩谷立文部科学大臣、町村信孝衆議院議員・議連会長

文科省の「専修学校の振興に関する検討会議」が終了し、報告書がまとめられたことを受けて、専修学校等振興議員連盟総会が、11月21日、東京永田町の自民党本部で開催された。

議連出席者は代理を含んで100名近くに及び、さらに全専各連の陪席者も各都道府県代表者ほか100名を数えた。

開会にあたり町村信孝会長が「ニート・フリーターの状況を見るまでもなく、職業教育の重要性が非常に増しており、高等教育段階で職業教育を位置づける大切な時期に差し掛かっている。1条校化は、単に法律的な位置づけを変えるだけでなく、いかにして職業教育を高等教育にしっかり

と位置づけ、有為な人材を社会に輩出してもらうかということであり、その重要な社会的機能を有する専修学校の活動を支援することが議連の役目である」とあいさつされた。

続いて塩谷立文部科学大臣が「これからの高等教育が我が国の重要な位置づけを担って、国際社会での競争力を高めていくことが重要であり、既に高等教育の在り方については中央教育審議会に諮問している。職業教育という明確な目的を持った専修学校各種学校の今日までの状況を踏まえた位置づけをしていくように諮問を行い、我が国のキャリア教育・職業教育の確立に向けて努力していきたい。」と力強く述べられた。

このあと各議員の意見が活発に交わされ、特に今後の中教審での議論が、新しい教育制度の創設の可否ではなく、作る方向でどうするのかという論議から始め、論議そのものを長期化させないよう、文部科学省に強い要望がなされ、文部科学省側の出席者である清水潔生涯学習政策局長より「新たな学校種の在り方と同時に、大学・短大や高専、高校の普通科や職業科等の在り方を含め、全体として整合的な制度を考える必要がある。さらに厚労行政を含め、ニートやフリーター、中退や早期離職といった様々な問題に対応できる仕組みを考えなければならない。そのことも含めて、総合的に速やかに進めていきたい。」との答弁があった。

会議終了後、懇親会となり、森喜朗名誉会長のあいさつで和気藹々の歓談の場となった。

## 都道府県協会等代表者会議を開催

11月21日、東京都・自由民主党本部を会場に、都道府県協会等代表者会議が開催された。出席者は、1条校化推進本部委員を含めて49名。

はじめに、中込三郎会長が、故・高山哲信常任理事・福岡県協会長のご逝去（11月18日）について報告し、出席者一同黙祷を捧げた。

続いて、中込会長は「専修学校の振興に関する検討会議の報告『社会環境の変化を踏まえた専修学校の今後の在り方について』がまとめられ、文部科学大臣の諮問により、中央教育審議会において議論されることとなった。これまでの道程は、長く険しかったが、関係者の多大なる支援を得て、大きな転機を迎えられたことに感謝を申し上げる。しかし、新たな方向性が示された今こそ、本当の正念場であり、引き続き、努力しなければならない」と述べた。

続いて、高橋雅之文部科学省専修学校教育振興室長が来

賓あいさつを述べた後、配布された検討会議「社会環境の変化を踏まえた専修学校の今後の在り方について（報告）」をもとに説明を行った。まず、審議の経過に関しては、専修学校にとどまらず、他の学校種を含めた教育システム全体に及び広範な議論が展開された状況に触れながら、会議を積み重ねた結果、職業教育の振興や今後の在り方の重要性については共通理解が生まれて、議論がより深まったとの見方を示した。さらに、報告を構成する4つの柱（専修学校の現状等、社会環境等の変化に対応した若者の社会的自立を促す教育の在り方、専修学校の今後の在り方について、今後の検討の方向性等）それぞれについて説明を行った。特に、新たな学校種の創設の提案に関して、高橋室長は論点のまとめとして、「①既存の学校制度においてキャリア形成支援のための教育の更なる充実を図るのか」及び「②職業を明確に意識した教育に特に重点を置き、学校教育の

## 文部科学省高橋雅之専修学校教育振興室長就任挨拶



9月16日付けで、専修学校教育振興室長に就任した高橋雅之と申します。

就任より約3ヶ月が過ぎたところですが、すでにご案内のとおり、昨年9月に専修学校の教育制度

の改善や今後の振興方策などについて検討するため、「専修学校の振興に関する検討会議」が設けられ、議論を重ねて参り、このたび報告がまとまりました。

報告では、若者を巡る厳しい雇用状況等の社会環境の変化に対応したキャリア教育・職業教育の充実が必要で

ある、としています。専修学校関係の皆様からご要望のあった職業教育を目的とする新たな学校種の創設については、中央教育審議会で、キャリア教育・職業教育の在り方の全体像を議論する中で、検討していくことが必要であるとしております。

これまでも、専修学校は、実践的・専門的な職業教育を担う教育機関として、産業界の第一線で活躍する人材を輩出してきましたが、今後、中央教育審議会で議論の中で、職業教育の在り方の見直しとともに、専修学校の役割に注目が集まるものと思います。

微力ではございますが、専修学校教育の更なる発展のため、努力して参る所存ですので、皆様方のご指導のほどよろしく願いいたします。

再構築に向けた方策をとるのか」の2つの考え方があるとした上で、「今後、中央教育審議会では、②に関する3つの論点（現行の各学校種の目的や機能との整理、設置基準の設定の在り方、現行の専修学校の役割や機能の評価・位置づけ）を踏まえて、議論を深める必要がある」と述べた。

その後、高橋室長と出席者との間で、今後の中教審での議論に関して、教育段階ごとの職業教育の在り方を巡る議論の行方、全専各連の方針の反映等について質疑応答を行った。最後に、高橋室長が配布資料をもとに平成21年度専修学校関係予算概算要求について説明した。

次に、事務局が、専修学校等振興議員連盟総会で中込会長が要望する事項（要望書「専修学校の今後の在り方を踏まえた振興策実現の要望」）を説明した後、全専各連活動状況として、①厚生労働省関連（「ジョブ・カード制度」の一層の推進、雇用・能力開発機構の今後の在り方）、②平成20年度ブロック会議報告、③入学辞退者に対する授業料等の返還の取り扱い、④平成20・21年度の主なスケジュール等について報告。

その他、厚労省関連として、秋葉英一理事・千葉県会長が委員として参画している「ジョブ・カード推進協議会」及び「雇用・能力開発機構のあり方検討会」の審議状況等について、また、小林光俊常任理事・東京都会長が、介護福祉士及び社会福祉士志望者に対する国の財政支援の検討状況について説明を行った。

最後に、中込会長が閉会の言葉を述べ、会議を終了した。

※ 「社会環境の変化を踏まえた専修学校の今後の在り方について（報告）」の詳細はP1を参照。

## 全専各連ブロック会議開催状況

下記のブロック会議が開催されました。詳細はホームページ内の「広報全専各連プラスWEB」に掲載いたします。

○東北ブロック会議（9月18日（木）福島県・スパリゾートハワイアンズ）参加者約90名。

○南関東ブロック会議（10月17日（金）千葉県・三井ガーデンホテル）参加者約140名。

## 文部科学省人事異動

文部科学省において、以下のとおり人事がありました。

○生涯学習政策局生涯学習推進課専修学校教育振興室専修学校第二係 増尾公三郎氏（平成20年10月1日着任）

謹んでお知らせ申し上げます

### 訃報

倉内史郎財団法人専修学校教育振興会理事

平成20年9月15日ご逝去

東洋大学名誉教授

元専修学校教員研修事業等中央委員会委員長

高山哲信全国専修学校各種学校総連合会常任理事・九州ブロック長

平成20年11月18日ご逝去

財団法人専修学校教育振興会理事・専修学校教員研修事業等中央委員会委員長

社団法人福岡県専修学校各種学校協会会長

心よりお祝い申し上げます  
**秋の叙勲・褒章受章者**

平成20年度秋の叙勲が次の方々にご贈られました。長年の努力と功績が認められた関係者のご芳名を掲載し、心

よりお祝い申し上げます。(敬称略、都道府県順)

**\*瑞宝小綬章**

大橋健造 (北海道・札幌工科専門学校理事)

水谷茂 (熊本県・熊本工業専門学校校長)

**\*瑞宝双光章**

中村忠雄 (静岡県・静岡福祉医療専門学校理事長)

# 専教振だより

財団法人専修学校教育振興会

<http://www.sgec.or.jp>

J 検 <http://www.sgec.or.jp/jken>

B 検 <http://www.sgec.or.jp/bken>

## J 検 情報検定 受験状況・結果

9月7日(日)に文部科学省後援情報検定(J検)情報システム試験・情報デザイン試験が実施された。受験結果は以下のとおり。

情報システム試験 受験者5,190名 合格者2,326名

情報デザイン試験 受験者1,093名 合格者 785名

## B 検 ビジネス能力検定 出願状況

12月7日(日)に実施された文部科学省後援第25回ビジネス能力検定(B検)の出願者集計は次のとおり。可否の発表は1月下旬の予定。

出願団体数 364団体

出願者総数 27,718名

## 文部科学省 平成20年度 社会教育功労者表彰

10月15日、文部科学省の社会教育功労者表彰制度の表彰者として、専教振の推薦した坪内孝満理事(鳥根県専修・各種学校連盟会長)が20年度の被表彰者に決定した。功績分野は技能検定。表彰式は、12月3日に文部科学省の講堂で行われた。

## 平成21年版全国専修学校総覧 刊行のお知らせ

専教振では、専修学校制度発足以来、年度ごとに全国の専修学校を網羅した、「全国専修学校総覧」を刊行し、全国の高等学校進路指導部をはじめ、関係官庁やハローワーク、

各種金融機関等で広く活用されています。

本年も文部科学省、全国の関係官庁、各専修学校等のご協力を得て、9月に刊行いたしました。

「平成21年版全国専修学校総覧」は、専修学校制度の解説から現状と動向、進学上のポイントや就職状況などを掲載する「解説編」、平成20年5月1日現在で設置されている専修学校全てを私立・国立・公立別、都道府県順に掲載する「名簿編」、ご賛同、ご協力いただいた個々の専修学校について詳細を掲載する「学校案内編」の3部で構成されています。

刊行に当たりまして、ご協力をいただきました皆様に、厚く御礼を申し上げますとともに、今後とも変わらぬご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 平成21年版全国専修学校総覧 お詫びと訂正

9月1日に専教振が発行いたしました「平成21年版全国専修学校総覧」におきまして、下記の誤りがありましたので、ここにお詫びし訂正いたします。

まお、来年度以降から学則が変更されるものについては、平成22年版にて訂正いたします。

○光塩学園調理製菓専門学校 (p64)

正 011.221.3355

○札幌SHOKA医療&ビジネス (p64)

正 札幌SHOKA医療&ビジネス専門学校

○富山県理容美容専門学校 (p145)

正 富山県下新田町32-26

○名古屋モード学園 (p164)

正 名古屋市中村区名駅4-27-1

○専門学校沖縄中央学園 (p251)

正 (学) 沖縄中央学園

## 教職員・学生生徒 表彰のご案内

財団法人専修学校教育振興会では例年、規程にもとづき、専修学校各種学校の教職員、学生生徒の方々を対象として、表彰状（A3大：縦310mm、横435mm）を交付しております。

この表彰は、文部科学省の所管する専修学校関係の公益法人である専教振の理事長名にて行われるもので、毎年全国から多数のお申し込みをいただき（平成19年度実績 教職員：276名、学生生徒：4,214名）、日頃から熱心なご指導を行ってこられた教職員、学業技芸等で優秀な成績を収めた学生生徒にとって、大きな自信や励みとなっております。

本年も専教振では、この表彰事業を円滑に行うため、現在、各都道府県協会等に対して、会員校への周知を依頼しております。

会員校の皆様におかれましては、各都道府県協会等より送付のあった申請書により、対象者をおとりまめの上、各都道府県協会等へお申し込みくださいますようお願い

願ひ申し上げます。

詳細は以下のとおり。

### 1. 表彰の対象者

○教職員表彰

専修学校各種学校の教職員としての勤務成績が優秀で、専修学校各種学校教育の発展向上に寄与した功績が著しく、在職（勤続）期間が7年以上の者。

○学生生徒表彰

在学中の学業に対する精励さが卓越し、かつ成績が極めて優秀であると認められる者。

### 2. 受付期間

毎年1月中旬より2月中旬まで

### 3. 手続方法

申請書に希望校ごとに教職員、学生生徒別に必要事項を記入し、各都道府県協会等に申請してください。

都道府県協会等一覧は全専各連HPをご覧ください。

<http://www.zensenkaku.gr.jp/association/>

※ 本年度の表彰状発送時期につきましては、2月中旬以降となりますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

## 平成20・21年度年間予定日程

### <役員会・総会等>

#### ●全専各連第108回理事会

平成21年2/26（木）東京都

#### ●全国学校法人立専門学校協会理事会

平成21年2/27（金）東京都

#### ●全専各連第58回定例総会・第109回理事会

平成21年6/17（水）東京都

#### ●全国学校法人立専門学校協会定例総会・理事会

平成21年6/18（木）東京都

### <平成21年度ブロック会議>

#### ●近畿ブロック会議

平成21年7/17（金）

和歌山県・ホテルアバローム紀の国

#### ●中国ブロック会議

平成21年7/21（火）

鳥取県・米子全日空ホテル

#### ●九州ブロック会議

平成21年7/23（木）～24（金）

鹿児島県・鹿児島サンロイヤルホテル

#### ●中部ブロック会議

平成21年8/27（木）～28（金）

福井県・芦原温泉グランディア芳泉

#### ●北関東信越ブロック会議

平成21年8/28（金）

長野県・ホテルメトロポリタン長野

#### ●北海道ブロック会議

平成21年8/28（金）～29（土）

北海道・札幌ガーデンパレス

#### ●南関東ブロック会議

平成21年9/15（火）

埼玉県・浦和ロイヤルパインズホテル

#### ●東北ブロック会議

平成21年9/17（木）～18（金）宮城県

### <その他会議>

#### ●事務担当者会議

平成21年4/23（木）

東京都・アルカディア市ヶ谷

### <検定試験等>

●文部科学省後援・情報検定（J検）

◇平成20年度後期試験

## 【情報システム試験・情報デザイン試験】

平成21年2/8(日)

## ●文部科学省後援・ビジネス能力検定(B検)

## ◇第25回【1級2次】

平成21年2/1(日):東京・福岡会場

平成21年2/8(日):東京・大阪会場

## &lt;研修会等&gt;

## ●第13回ビジネス教育事例発表研修会

平成21年2/20(金)~21(土)

東京都・都市センターホテル

## &lt;その他&gt;

## ●第64回全国私立学校審議会連合会総会

平成21年10/29(木)~30(金)三重県

## ●第21回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア埼玉」

平成21年10/30(金)~11/3(火)

埼玉県・さいたまスーパーアリーナけやき広場

## その他の お知らせ・広報全専各連プラスWEB 掲載記事一覧

詳細は全専各連ホームページ「広報全専各連」よりご覧いただけます。<http://www.zensenkaku.gr.jp/koho/>

## ■平成20年度高等専修学校大学入学資格付与指定校■

文部科学省は、12月3日付けの官報告示により、本年度の専修学校高等課程・新規大学入学資格付与校等を発表しました。

## ■国内派遣・研究奨励事業参加者募集■

専修学校教員国内派遣・研究奨励事業の参加者を募集中です。希望者は各都道府県協会等へご申請ください。

## ■分野別専門部会等総会■

○全国経理教育協会第65回通常総会(5月28日)(会場)東京都・東京ガーデンパレス(出席者)251名

○全国専門学校日語教育協会定例総会(7月23日)(会場)東京都・全国専門学校日語教育協会事務局(出席校)21校

○全国私立学校審議会第63回総会(10月30~31日)(会場)北海道・京王プラザホテル札幌(出席者)190名

## ■イベント・研修会・スポーツ・検定など■

○第13回全国専門学校バスケットボール選手権大会(8月

23日)(会場)北海道・北海道立総合体育センター 全国専門学校体育連盟、(財)日本バスケットボール協会、全国専門学校バスケットボール連盟共催。

○第24回色彩士検定(9月7日) 特定非営利活動法人全国美術デザイン専門学校教育振興会主催

○2008日本留学フェア(韓国)(9月6日~7日)(独)日本学生支援機構主催、全専各連・(社)東京都専修学校各種学校協会・(財)日本語教育振興協会共催。参加校数181校(大学・日本語教育機関含む)。

○第20回全国生涯学習フェスティバル(10月11~15日)(会場)福島県・ビックパレット福島等

○第20回全国専門学校軟式野球選手権大会(10月26~31日)(会場)富山県・アルペンスタジアム等 全国専門学校体育連盟、全国専門学校野球連盟主催

○第18回全国専門学校サッカー選手権大会(10月27日~31日)(会場)東京都・駒沢オリンピック公園 全国専門学校体育連盟、全国専門学校サッカー連盟、(財)日本サッカー協会主催

## 学生・生徒手帳の

## 予約受付を開始いたしました

『専門学校学生手帳』・『高等専修学校生徒手帳』の予約受付が始まりました。

この手帳は、長年にわたりご利用をいただいている学校からのご意見・ご要望を取り入れ、「高等専修学校生(専門学校生)の心がまえ」、「専門学校生が取得できる資格一覧」等の内容を盛り込んだ、財団法人専修学校教育振興会企画のオリジナル手帳です。

価格は、〈共通版〉1部265円(消費税別途)より、50部以上のご注文からは校名・校章等をカバーに金字刻印できます(別料金)。さらに200部以上からは、学校独自の頁(校則等)を加えた〈差替版〉や〈特注版〉も受け

付けております。

共通・差替・特注版ともに、カレンダーや年間スケジュール等の共通に利用できる部分を大量一括で印刷するため、低価格でのご提供となっております。

学生・生徒手帳を導入されていない学校や来年度からの導入を計画中の学校、手帳の改訂を検討中の学校におかれましては、この機会に是非お申し込みください。

なお、見本を希望される学校は、専門学校学生手帳と高等専修学校生徒手帳の別、担当者のお名前を明記し、送料として160円(2部の場合は200円)分の切手を同封の上、下記までお申し込みください。

## 【お問い合わせ・ご注文先】

ナカバヤシ(株)販促業務部 担当 斉藤

〒174-8602東京都板橋区東坂下2-5-1

電話 03(3558)1252

○第13回全国学生技術コンテスト（10月31日）（会場）東京都・品川区立総合区民会館（社）全国理容美容学校連盟主催、文部科学省、全専各連後援。

＜専教振主催研修会等＞

○ビジネス教育「教員と講師のための研修会」  
 島根会場（9月10日）（会場）島根県・サンラポーむらくも（参加者）30名  
 福岡会場（9月26日）（会場）福岡県・チサンホテル博多（参加者）30名  
 福井会場（11月21日）（会場）福井県・ウェルシティ福井（参加者）30名

○新任教員研修指導者研修会（10月10日）（会場）東京都・文化服装学院（出席者）10名

**会員校の皆様へ**

募集要項等に、3月31日までに入学辞退の意思表示をした者に授業料等を返還することを明記してあるか、不適切な記載がないかも併せ、改めてご確認ください。ご心配な点は都道府県所管課等とご相談ください。

本件に関わる通知等は全専各連ホームページをご参照ください。

## 日本政策金融公庫 「国の教育ローン」のご案内

「国の教育ローン」は、教育にかかる家庭の経済的な負担の軽減と教育の機会均等を図るために国によって創設された融資制度で、専修学校等の入学時や在学中の教育費用として、制度発足以来、延べ430万人の方々にご利用いただいております。

ご利用いただける方は、専修学校・各種学校等へ入学・在学される方の保護者（ご親族またはご本人でもご利用いただける場合があります）で、世帯の年間収入（所得）が一定額以内の方となります。詳しくは、教育ローンコールセンターまでお問い合わせください。

ご融資金額：学生・生徒お1人につき200万円以内  
 ご返済期間：10年以内（交通遺児家庭・母子家庭の方は11年以内）  
 利率：2.45%（平成20年11月10日現在）

※保証機関をご利用の場合、別途保証料（年1.0%相当分）が必要です。

（お問い合わせ先）日本政策金融公庫 **教育ローンコールセンター 0570-008656（又は 03-5321-8656）**  
 ※平成20年10月1日に国民生活金融公庫は他機関と統合し、**日本政策金融公庫**となりました。

## 平成20年度 J 検試験日程

<div style="background-color: #333; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;"> <span style="font-size: 1.2em;">📄</span> <b>情報活用試験</b> ※文部科学省後援                 </div> <p>＜後期（一般試験）＞                  試験日 平成20年12月14日（日）                  出願期間 平成20年9月1日（月）～10月27日（月）                  実施級／受験料                  1級———4,000円                  2級———3,500円                  3級———1,500円</p>	<div style="background-color: #333; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;"> <span style="font-size: 1.2em;">💻</span> <b>情報システム試験</b> ※文部科学省後援                 </div> <p>システムエンジニア認定                  プログラム認定                  &lt;前期&gt;                  試験日 平成21年2月8日（日）                  出願期間 平成20年11月1日（土）～12月15日（月）                  実施級／受験料                  基本スキル———2,500円                  システムデザインスキル———2,000円                  プログラミングスキル———2,000円</p>
<div style="background-color: #333; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;"> <span style="font-size: 1.2em;">📖</span> <b>J検情報活用基礎</b> ※団体限定                 </div> <p>＜期日指定方式＞                  試験期日A日程 平成20年11月30日（日）～12月6日（土）                  試験期日B日程 平成21年2月1日（日）～2月7日（土）                  出願期間A日程 平成20年9月1日（月）～10月27日（月）                  出願期間B日程 平成20年11月1日（土）～12月15日（月）                  受験料 1,500円</p>	<div style="background-color: #333; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;"> <span style="font-size: 1.2em;">🎨</span> <b>情報デザイン試験</b> ※文部科学省後援                 </div> <p>ビジュアルデザイン分野認定                  インタラクティブメディアデザイン分野認定                  プレゼンテーション分野認定                  &lt;前期&gt;                  試験日 平成21年2月8日（日）                  出願期間 平成20年11月1日（土）～12月15日（月）                  実施級／受験料                  必修共通科目———2,000円                  ビジュアルデザイン———1,500円                  インタラクティブメディアデザイン———1,500円                  プレゼンテーションデザイン———1,500円</p>

「創る」「使う」「伝える」

# 情報検定はJ検

http://www.sgec.or.jp/jken  
 お問い合わせ：検定試験センター TEL.03-5275-6336

## 専修学校各種学校生の就職を応援します

文部科学省後援

詳しくは  
<http://www.sgec.or.jp/bken>

# ビジネス能力検定

平成21年度 B 検試験日程

第26回検定実施日 平成21年7月5日（日）

- 実施級：2級、3級
- 出願期間：平成21年4月1日（水）～5月中旬
- 受験料：2級3,800円 3級2,800円

財団法人専修学校教育振興会 検定試験センター  
 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-9 TEL.03-5275-6336 FAX.03-5275-6969

## 「疾病補償型学生新保障制度」のご案内

学校管理下の学生生徒の傷害事故等を保障する学生生徒災害傷害保険に加えて、学生生徒の傷害事故、疾病を24時間カバーする疾病補償型学生新保障制度を平成18年3月に財団法人専修学校教育振興会として創設いたしました。

この制度は、傷害治療にともなう諸費用の補償（治療実費、交通費、差額ベット代等）や心筋梗塞、脳疾患、熱中症などの全疾病を担保し、更に学生生徒の保証人に生じた疾病を含む災害を補償することにより、学生生徒をとりまく複雑化した社会のニーズに対応できる内容となっております。

○新保障制度の内容と補償額(学生生徒1人につき7,000円負担の場合)

保険種類	補償金額	補償内容
普通傷害保険	死亡後遺障害150万円 治療諸費用30万円	学生の24時間傷害事故について補償します。医師の治療を要し治療が始まった日から要した健康保険の自己負担額等を治療諸費用保険で支払。
個人賠償保険	賠償責任保険1000万円	偶然な事故により他人を死傷させたり、財物に損害を与え、法律上の損害賠償を負わされたときに賠償責任保険として支払。
学生葬祭保険	葬祭費用保険100万円	学生の傷害及び疾病による死亡を、学校管理下外でも24時間補償して支払。
弔慰金規程費用保険	弔慰金50万円	保証人の死亡に関して、事故によるケガ又は疾病がももて死亡した場合、葬祭費用保険金を支払。

引き受け保険会社:エース保険株式会社・日新火災海上保険株式会社・三井住友海上火災保険株式会社  
代理店運営:株式会社ジャパン・プロテクト・システムズ

認定事務局

株式会社 ジャパン・プロテクト・システムズ

〒542-0012 大阪市中央区谷町9-1-22 NK谷町ビル

TEL:06-6191-8100 フリーダイヤル:0120-396-390

## 専修学校各種学校 学生生徒災害傷害保険のご案内

### 補償内容

学生・生徒の日常の大半を占める、正課中、学校行事中、学校休憩時間中、課外活動中の傷害事故

実習中等の賠償事故



財団法人専修学校教育振興会

通学特約を付帯することにより、通学中の傷害事故等も補償できます。

学校の授業等、学校行事または課外活動への参加の目的をもって、合理的な経路及び方法により、住居と学校施設との間を往復する場合等の傷害事故・賠償事故

### 補償金額・掛け金(保険料)

補償内容	正課中		通学中	
	昼間部	夜間部	昼間部	夜間部
死亡保険金	2,000万円	1,200万円	1,000万円	600万円
後遺障害保険金	90万円~3,000万円	54万円~1,800万円	45万円~1,500万円	27万円~900万円
入院保険金	事故の日から180日を限度に1日につき4,000円			
通院保険金	通院日数90日を限度に1日につき昼間部の場合1,200円・夜間部の場合1,000円			
賠償責任保険	対人補償 1名 5,000万円限度 / 1事故5億円限度 対物補償 500万円限度			

保険期間	昼間部		夜間部	
	通学特約無	通学特約有	通学特約無	通学特約有
1年	440円	700円	450円	630円
2年	770円	1,250円	820円	1,160円
3年	1,120円	1,810円	1,190円	1,680円
4年	1,430円	2,310円	1,510円	2,140円

※半年単位でのご契約も可能です

### インターンシップ活動賠償責任保険

学生がインターンシップ活動中に、他人にケガをさせたり、他人の財物を壊してしまった場合に備えた、賠償責任保険制度です。

### 補償の対象者

学生生徒災害傷害保険に加入の学生に限りです

### 補償金額・年間保険料

活動内容	正課・学校行事または課外活動として行われるインターンシップ活動
補償金額	対人 1名1事故につき1億円限度 対物 250万円限度(免責金額5,000円)
保険料(1人につき)	250円

### 医療分野学生生徒賠償責任保険

「学生生徒災害傷害保険」に付帯されている賠償事故補償においては、「臨床、看護、歯科衛生・技工、診療放射線、理学療法、柔道整復師、あんま、マッサージ、はり、きゅう」などの医療関連実習の際の学生生徒の賠償責任事故が対象外となっていました。平成15年からは、正課および学校行事として行われる学校の管理下(インターンシップ活動も含みます。)の上記の医療関連実習の際の学生生徒の賠償責任事故を補償するコースを新設します。

### 補償の対象者

学生生徒災害傷害保険に加入の学生に限りです

### 補償金額・年間保険料

支払い限度額	対人 1名につき 1億円限度 1事故につき 1億円限度 対物 1事故につき 1億円限度
自己負担額	なし
保険料(1人につき)	1,000円

### 学校賠償責任保険

傷害保険と異なり、学校側の過失によって、学生生徒または第三者に対する賠償事故が発生し、学校が法律上の損害賠償責任を負った場合に保険金が支払われる保険制度です。

### 補償の対象者

各学校

### 補償金額・年間保険料

補償金額	対人 1名につき 5,000万円限度 1事故につき 5億円限度 対物 1事故につき 500万円限度(免責金額:1万円)
保険料(1人につき)	4月1日~翌年3月31日 42円(1ヵ月単位での契約が可能です)

### 個人情報漏えい保険

本保険は、2つの補償で構成されております。

①賠償責任部分: 個人情報漏えい起因で、学校が法律上の賠償責任を負担することによって被る損害を補償します。

②費用部分:

個人情報漏えいし、学校が事故への対応のために支出した必要不可欠な各種費用について保険金をお支払いいたします。

### 補償の対象者

各学校

### 補償金額・年間保険料

ご契約タイプ	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ
賠償責任部分(1請求・期間中)	1,000万円	3,000万円	1億円
費用部分(1事故・期間中)	100万円(最小てん種90%)	300万円(最小てん種90%)	1,000万円(最小てん種90%)
自己負担額(免責金額)	賠償・費用ともに1事故につき 各20万円		

学生生徒数	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ
~350名	3万円	5万円	10万円
351~500名			
501~1,000名			
1,001名~			

※保険料が記載されていないゾーン( )部分の保険料については、(併第一成和事務所までお問い合わせ下さい。 )ご照会下さい

※この案内は本制度の概要をご説明したものです。詳細は下記までご照会下さい。

**Insurance for the Earth**  
東京海上日動は、マングローブ植林を通じて地球の安心・安全をひろげます。

【お問い合わせ先】  
東京海上日動火災保険株式会社 公務第2部公務第1課  
住所: 東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエアWEST11F 電話03-5223-2607  
取扱代理店(株)第一成和事務所 住所: 東京都中央区日本橋本町3-8-3 東明ビル 電話03-5645-1071

三井住友海上  
MSIG  
株式会社 損害保険ジャパン